

# エアゾルアトマイザー

## Model 3079A



### 適用

モデル3079Aは、さまざまな用途でご使用いただけるエアゾル発生器です。

- フィルター効率試験
- 粒径計測装置の評価
- LDV薬剤の発生
- ラミナーフローボックスの試験
- 装置の検査試験
- 基礎エアゾルの研究

など

### 概要

モデル3079Aは噴霧式のエアゾル発生装置です。サブミクロン領域のエアゾル粒子を安定して発生する事が出来ます。DOP・DOS等の溶液を使えば多分散のエアゾルが発生でき、標準粒子であるPSL（ポリスチレンラテックス）粒子を用いれば、単分散エアゾルの生成が可能です。

また、3079Aは出力されるエア流量を調整することも可能です。

### 特徴

- 粒径分布及び個数濃度を安定発生（参考：DOSで0.2~0.3 $\mu$ m）
- DOP、DOS、PSL、NaCl粒子等さまざまなエアゾル発生が可能
- 軽量・小型で、且つ強固な設計
- 低ノイズの小型コンプレッサ内蔵で取り扱いが容易

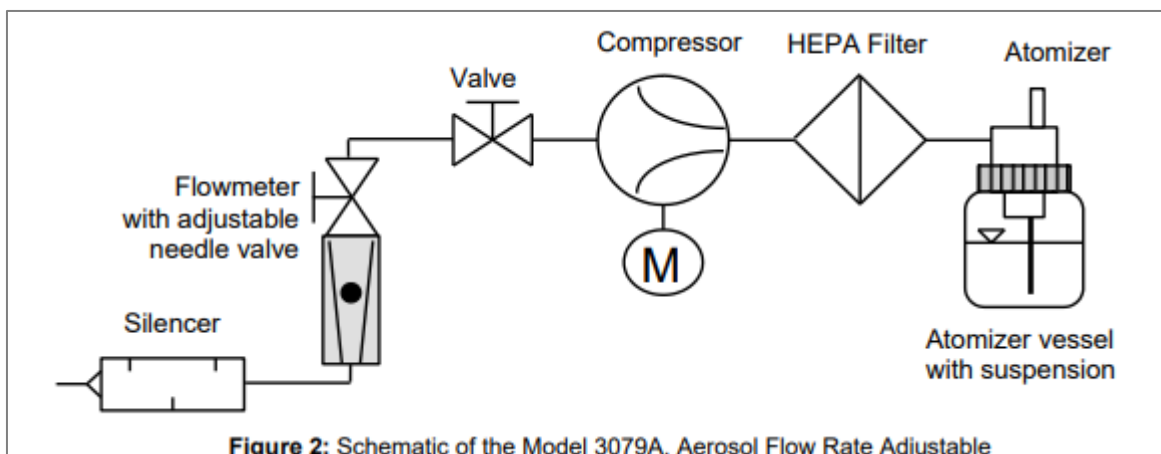


Figure 2: Schematic of the Model 3079A, Aerosol Flow Rate Adjustable

Figure.1 アトマイザーの内部フロー図

## 発生原理

装置に内蔵された小型コンプレッサーよりエジェクターノズルに加圧エアを供給すると、ノズル部に吸引圧が生じ、ガラス内の溶液が吸い上げられます。

そしてこの溶液が内壁に勢い良く吹き付けられます。この時大きな液滴はインパクト方式にて除去され、安定した微小なエアロゾル粒子のみが出口を通して発生されます。

NaCl水溶液、又は液体に溶媒を混ぜれば、より微小なエアロゾル粒子を発生することも可能です。

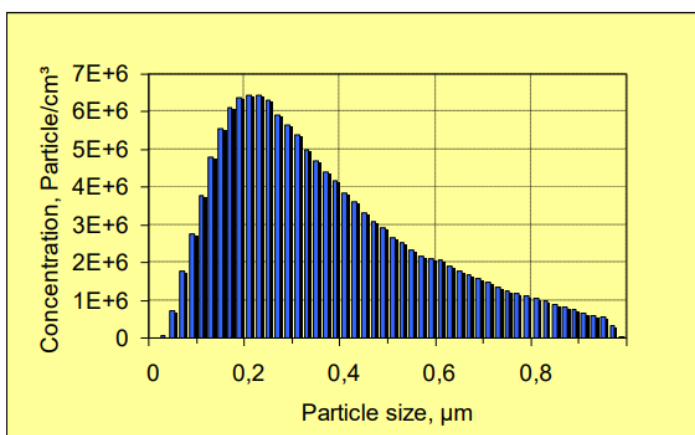


Figure. 2 DEHSの発生例 (TSI社SMPSで計測)

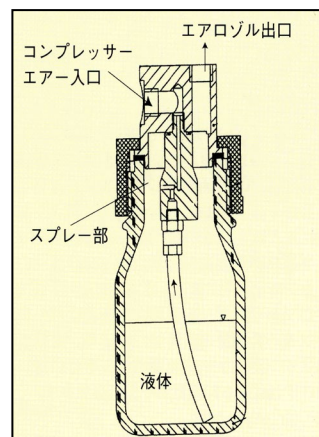


Figure. 3 容器・内部構造

## 仕様

### Model 3079A

発生粒径	: 0.2~1 $\mu$ m (エアロゾル材料による)
粒子濃度	: >10 <sup>8</sup> 個/cc
粒子の種類	: 液体 DES、DOP、PAO、パラフィン 等 固体 PSL、NaCl 等
発生流量	: 最大 5 L/min
出口耐圧	: 20kPa (0.2bar)
寸法 (HWD)	: 195 × 120 × 300mm
重量	: 4.8kg
電源	: 100~240VAC

\* 仕様は予告なしに変更される場合があります。ご了承ください。

Apl, 21 改訂

**Dylec** 東京ダイレック株式会社

**TOKYO DYLEC CORP.**

東京本社 〒160-0014 東京都新宿区内藤町1 内藤町ビルディング  
TEL 03-3355-3632 FAX 03-3353-6895 (代表)  
TEL 03-5367-0891 FAX 03-5367-0892 (営業部)

西日本営業所 〒601-8027 京都市南区東九条中御霊町53-4-4F  
TEL 075-672-3266 FAX 075-672-3276

<http://www.t-dylec.net/> e-mail : [info@tokyo-dylec.co.jp](mailto:info@tokyo-dylec.co.jp)